

■ 人形劇団むすび座の紹介 ■

人形劇団むすび座は、東海地方で初のプロの人形劇団として1967年に名古屋市に誕生しました。創立以来、「子どもと子どもをむすびます」「人と人をむすびます」を合言葉に、心の糧となる人形劇を子どもたちの生活に近い場で上演してきました。

人形劇は不思議です。転がっている時の人形はただのモノなのに、人形遣いが手に取ると魔法がかかったように命が吹きこまれ、笑ったり泣いたり怒ったり、いろいろな表情が見えてきます。

それは観客の皆さんが自らの想像力を十分にはたらかせて観ているからです。

〈 想像力は人を思いやる心の源 自らの人生を切り拓く力 〉

自分の行動を相手はどう受け止めるだろうと想像することで人を思いやることができ、自分の未来を想像することで自らの人生を切り拓くことができます。

♪むすび座のむすびは心をむすぶのむすび♪

このむすび座の歌のように、子どもと子ども、そして大人たちの心と心を結ぶことができたらと願っています。



<スタッフ>

(この人形劇を作った人たち)

脚色／篠原 久美子
演出／関根 信一(劇団フライングステージ)
美術／宮武 史郎・小辻 賢典
音楽・音響／ノノヤママナコ(マナコ・プロジェクト)
振付・振付指導／LONTO(ラストラーダカンパニー)
服部 哲郎(afterimage)

衣装デザイン／長谷川 真代
照明／若狭 慶大(藤井照明)
合唱指導／板倉 歌奈子
制作／吉田 明子・伊藤 博美

<キャスト>

(この人形劇に出演する人たち)

ドロシー / 渡辺 智美
かかし / 小林 嵩幸

ブリキ・ヘンリーおじさん / 太田 博己
ライオン・北の魔女 / 高光 浩一
トト・エムおばさん / 山口 華穂

西の魔女・カリダー / こつじまさのり
エムおばさん・南の魔女 / 小松 稲葉
エッペー・オズ大王 / 和田 真琴人

令和5年度 学校巡回公演事業



学校巡回公演事業

ショウガッコウ チュウガッコウとう ぶんかげいじゅつだんたい じつえんげいじゅつ じゅんかいこうえん おこな こども しつたか ぶんかげいじゅつ
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を
鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力を
養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。
ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加でき
る工夫を行います。

も
の
が
た
り

ドロシーはある日、家ごと竜巻にまきあげられて
かいぬ 飼い犬のトトといっしょにオズの国にやってきます
そこで出会った3にんの友だち かかし、ブリキ、ライオン
4にんとトトは、どんな願いもかなえてくれる
偉大なオズの魔法使いに会うために旅に出ます
カカシは脳みそ!ブリキは心!ライオンは勇気!をもらうため
ドロシーは、我が家に帰るために…



「こどものみなさんへ」

脚本：篠原 久美子

みなさんは、きっとおとなから「ゆめはなに?」と聞かれたことがあるでしょう。

また、「ほしいものはなに?」と聞かれたこともあるかもしれません。では、「あなたのねがいはなに?」と聞かれたことはあるでしょうか? ゆめでも、ほしいものでもなく「ねがい」。もしもかなったら…と強く思うけれど、だれにもかなえることはできないかもしれない、ゆめよりもひっそりと心のおくにかくれているもの…。

「オズのまほうつかい」に出てくる4にんの子どもたち、ドロシー、かかし、ブリキ、ライオンには、「ねがい」があります。そのなかに、あなたのねがいに、しているものはあるでしょうか。そのねがいはどこから生まれてきたのでしょうか。さあ、4にんとトトといっしょに、ねがいをかなえるぼうけんの旅に出てみましょう!

きいろいレンガの道の歌

さくし：しほらくみこ
作詞：篠原久美子
さつきよ
作曲：ノノヤママナコ



- テケテケ カツカツ カッカッカ *
- ラッタタタタタタラッタターン *
- でこぼこ、ぼこぼこ、ぐるりんちょ *
- あしあと、あしあと、ねがいごと *
- きいろい黄色いレンガはつづいてる *
- ねがいのかなう *
- エメラルドのみやこ *
- いだいな オズのまほうつかい
- オズだいおうさま まっててね
- あたしは、おうちにかえるの、
- カンザスへ(ワン!)
- ラッタタタタタタラッタターン
- ラッタタタタタタラッタターン
- あしたは きぼうのひ